

A. 主な動き

1. 内政

▼ティモシェンコ前首相に対する刑事訴追

・27日、キレィエフ・キエフ市ペチェルスク地区裁判所裁判官は、ティモシェンコ前首相に対する刑事訴追に関する法廷を再開。同日、検事総局は、ティモシェンコ前首相に対し、7年間の懲役及び3年間の組織指揮・行政予算管理に関する国家機関の職への就任の権利剥奪を求刑。

・30日、キレィエフ・キエフ市ペチェルスク地区裁判所裁判官は、ティモシェンコ前首相に対する刑事訴追に関する判決を10月11日に下す旨発表。同法廷の10月11日までの休廷を宣言。同日、キレィエフ裁判官は、判決宣告の際は報道関係者以外の傍聴を認めない旨決定。

・30日、ヤヌコーヴィチ大統領は、本件は幾つかのEUの国家の代表者の懸念を呼び起こしているとしつつ、裁判所もしくは司法機関に対する一定の圧力と捉えられ得るため、本件には全くコメントしたいとは思わない旨発言。

▼法改正に向けた動き

・27日、ヤヌコーヴィチ大統領は、経済関係の犯罪による拘束刑の原則的廃止を目的とした刑法・刑事訴追法改正に関する法案を最高会議に登録。28日、ミロシュニチェンコ大統領最高会議全権代表は、同イニシアティブは、同分野における欧州基準を実質的に導入するものである旨発言。

・27日、ラヴリノヴィチ法相は、最高会議選挙法改正案に対するベニス委員会の暫定的提言を肯定的に評価、10月14～15日に予定されているベニス委員会の次回定例会合の際に、同法案が最高会議の審議に到達していることを望む旨発言。

・28日、ルカシュ大統領補佐官兼憲法裁判所全権代表は、最高会議選挙法改正案は現行法の改善に繋がるものであるとの米国NGO「国際選挙制度基金」(IFES)の評価を歓迎、改善の余地がある旨指摘された点については今後検討されることとなる旨発言。

▼その他

・27日、キエフ市ペチェルスク地区裁判所は、ルツェンコ前内相に対する予防措置変更及び同内相の病院への移送を求める請願を再度却下。

・29日、リトヴィン最高会議議長は、国民党(元「ブロック・リトヴィン」)と地域党の統合に向けた協議が継続している旨発言。

▼世論調査

[キエフ国際社会学研究所]

・次の日曜日にキエフ市長選挙が実施された場合の支持率
クリチコ「ウダール」党首:27%、ポポフ・キエフ市行政府長官:14%、ティモシェンコ前首相:7%、オメリチェンコ前キエ

フ市長:7% 等

・次の日曜日にキエフ市議会選挙が実施された場合の政党支持率

「ウダール」党:25%、「パチキフシナ」党:13%、地域党:9%、「変化の前線」党:6% 等

・調査は8月26日から9月7日にかけて999名の成人を対象に実施。標準誤差は3.2%以内の由。

2. 経済

▼農業

・28日、プリシャジニウク農業政策・食料相は、農業生産物の備蓄に年間5億フリヴニャを要しており、農業生産物の備蓄機能は国庫から生産者に移転されるべき旨発言。

・28日、プリシャジニウク農業政策・食料相は、EUがウクライナに輸出される農業生産物に対する補助金を廃止することに合意した旨発言。

3. 外交

▼26～27日、ルプ・モルドバ大統領代行(議会議長)の来訪

・26日、リトヴィン最高会議議長は、ルプ・モルドバ大統領代行と会談、議会間交流を中心とする二国間関係の強化につき協議。双方は、議会間交流に関する合意に署名。

・26日、アザーロフ首相は、ルプ・モルドバ大統領代行と会談、モルドバ産アルコール飲料の対ウクライナ輸出、両国領内にある施設の所有権、国境確定等の問題を中心とする二国間関係の諸問題につき協議。

・27日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ルプ・モルドバ大統領代行と会談、二国間関係につき協議。

▼29～30日、キム・ファンシク韓国首相の来訪

・29日、ヤヌコーヴィチ大統領は、キム韓国首相と会談、二国間関係につき協議。

・29日、アザーロフ首相は、キム韓国首相と会談、貿易経済関係を中心とする二国間関係の強化につき協議。アザーロフ首相は、12月にソウルにおいて投資フォーラム及び第1回ウクライナ・韓国貿易経済政府間会合の開催につき発表。

▼29～30日、ヤヌコーヴィチ大統領の東方パートナーシップ首脳会合参加(於ワルシャワ)

・30日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ファン＝ロンパイ欧州理事会議議長及びパローゾ欧州委員長と会談、深化した包括的FTA創設、連合協定及びEU査証廃止を中心としたウクライナの欧州統合プロセス等につき協議。

・30日、ヤヌコーヴィチ大統領は、12月までに深化した包括的FTA創設に関する全ての問題をEU側と解決できるもの

と確信している、連合協定本文にはEU加盟の展望が盛り込まれるようEU側に求めていく旨発言。

▼その他

・26日、アザーロフ首相は、ウクライナは、EUとの深化した包括的FTA創設交渉で、穀物輸出枠の年200万トンまでの拡大に合意した旨発表。

・29日、ワルシャワにおいて、第15回GUAM外相会合が開催、ウクライナよりグリシチェンコ外相が参加。参加者は、成果文書であるGUAM外相共同宣言に署名。

4 . 防衛

▼26～30日、エジェリ国防相のブラジル訪問

・エジェリ国防相率いる軍事代表団がブラジルを訪問。

・27日、エジェリ国防省は、アモリン・ブラジル国防相と会談、両国間の軍事及び技術協力の発展に関する諸問題につき協議、ウクライナ・ブラジル共同宇宙計画に投資する用意がある旨発言。

▼その他

・27日、外務省は、グリシチェンコ外相とクリントン米国務長官が核の安全保障における協力に関する了解覚書に署名した旨発表。

(了)